LIXIL

システムトイレ
洗面器・手洗器ユニット

NOSEL counter（ノセル　カウンター）

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ
正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に
大切に保管してください。
※システムトイレ管理の手引きと合わせて
　ご覧ください。

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、
当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

もくじ

安全上のご注意…… 2
各部の名称…… 5
ご使用前に…… 6
ご使用方法…… 8
お手入れ方法…… 9
点検・修理依頼……13
仕　様……15

プラ
袋：PE

●安全上のご注意（お使いになる前に必ずお読みください。）

●ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

……「注意しなさい！」（上記の『警告』『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理・改造は行わないでください。
※発火、感電したり、異常作動してケガをすることがあります。

水につけたり、水をかけないでください。
※発火、ショート、感電、故障の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントへの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
※発火、ショート、感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※電源コードが破損し、発火、ショート、感電の原因となります。

⚠警告

電源プラグを濡れた手で触れないでください。
※感電の原因となります。

本体の上に吸いかけのタバコは絶対に置かないでください。
※焼け焦げがついたり、火災の原因となります。

機器用に設置するコンセントは「接地極付コンセント（3P)」をご使用ください。
- **設置場所の分電盤に漏電遮断機が設置されていることを確認してください。**
- **アース線が必ず接続されていることを確認してください。**
- **コンセントに接地極がない場合は、接地極付コンセントへの交換とD種接地工事に準じた工事を電気工事店にご依頼ください。**
- **故障や漏電の際に感電する恐れがあります。**

⚠注意

交流100V（50/60Hz）以外では使用しないでください。
※発火、ショート、感電、故障の原因となります。

水道水以外は使用しないでください。
※商品の内部腐食により、発火、ショート、感電、故障の原因となります。

腐食性・中性・還元性ガスのあるところでは使用しないでください。
※機械の寿命が短くなります。

直射日光が当たる場所では、使用しないでください。
※誤動作や変色する恐れがあります。

氷点下になるような場所に設置しないでください。
※水栓内の水が凍結しますと部品が破損して、水漏れの原因となります。凍結による水栓の破損は、保証期間内でも有償修理となります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
※発火、ショート、感電の原因となります。

本体に乗ったり、踏み台として使用したり、ぶらさがったりしないでください。
※故障や商品が破損してケガをしたり、漏水のため家財を汚す原因になることがあります。

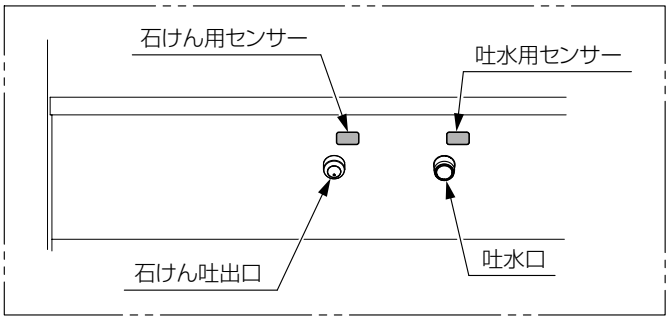
⚠注意

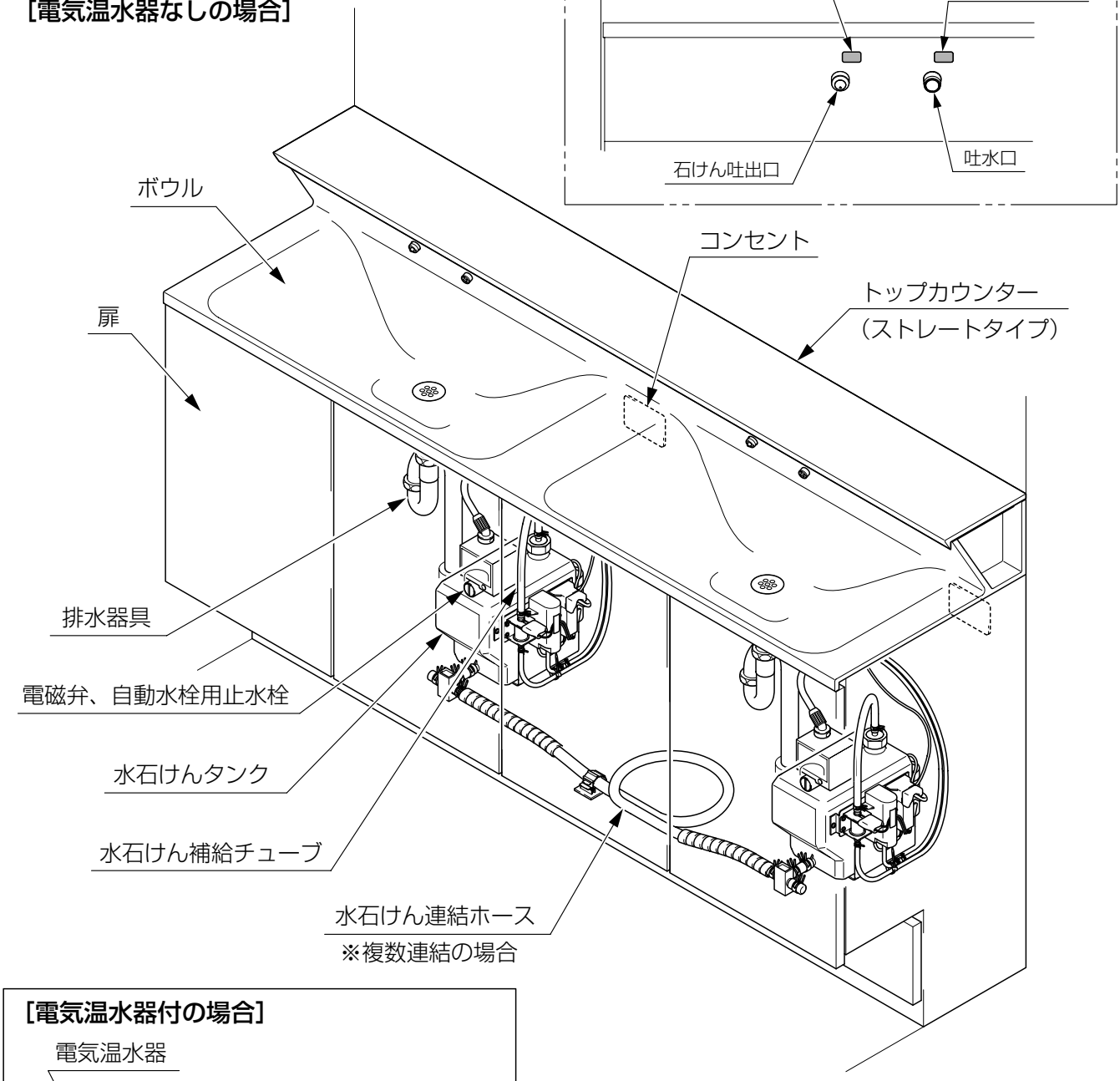
カウンター、ボウルに硬いものを落とさないでください。 **※カウンター、ボウルが破損してケガをしたり、水漏れのため家財を濡らす原因になることがあります。** 禁止	カウンター、ボウルにヒビが入ったり、割れたりしたら破損部は絶対に触らないでください。 **※破損部でケガをする恐れがあります。早めに補修依頼をしてください。** 接触禁止
ボウルに熱湯を注がないでください。 **※ボウルが破損してケガをしたり、漏水のため家財を汚す原因になることがあります。** 禁止	ボウルにひびが入ったままで使用しないでください。 **※突然割れてケガをする恐れがあります。** 禁止
棚・吐水樹脂部を金たわし等でこすらないでください。 **※傷等の原因となります。** 禁止	酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油脂を使用しないでください。 **※変色や変形の恐れがあります。(溶剤がつきますと跡が残ることがあります。)** **また文字はげやメッキはがれの恐れがあります。** 禁止
定期的に配管のまわりに水漏れがないか確認してください。 **※部品の磨耗、劣化などにより水漏れが生じ、家財などを濡らす財産損害を発生する恐れがあります。** 指示実行	
本体が破損した場合、コンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼してください。 **※そのまま使用するとショートや感電の原因となります。** 指示実行	メンテナンスの際は、手を切らないように手袋、長そで服を着用してください。 指示実行

●各部の名称

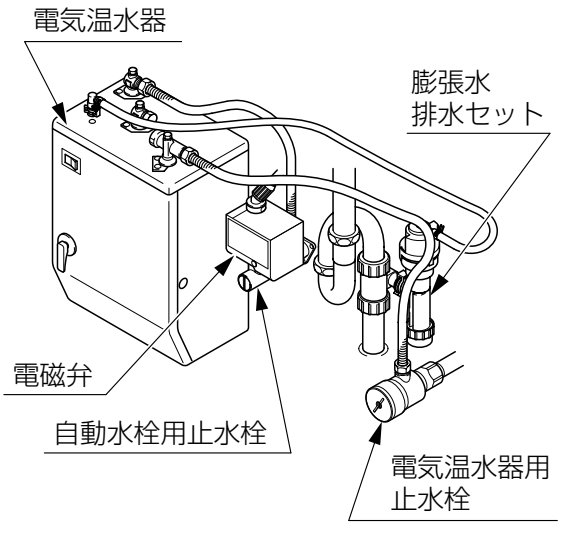
※図は2器具タイプ

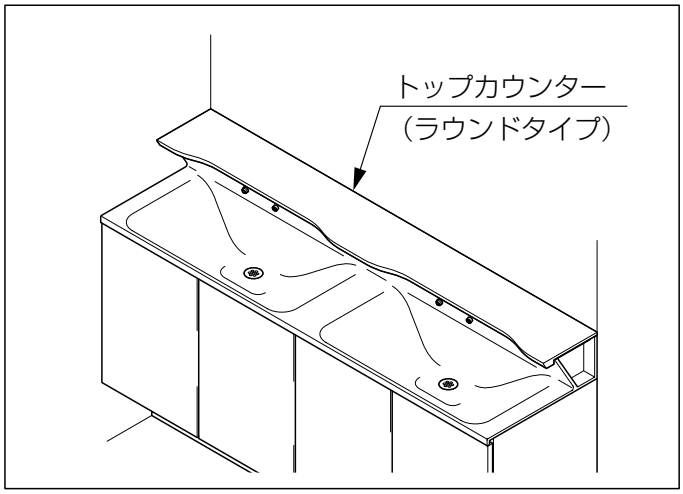
［電気温水器なしの場合］





［電気温水器付の場合］



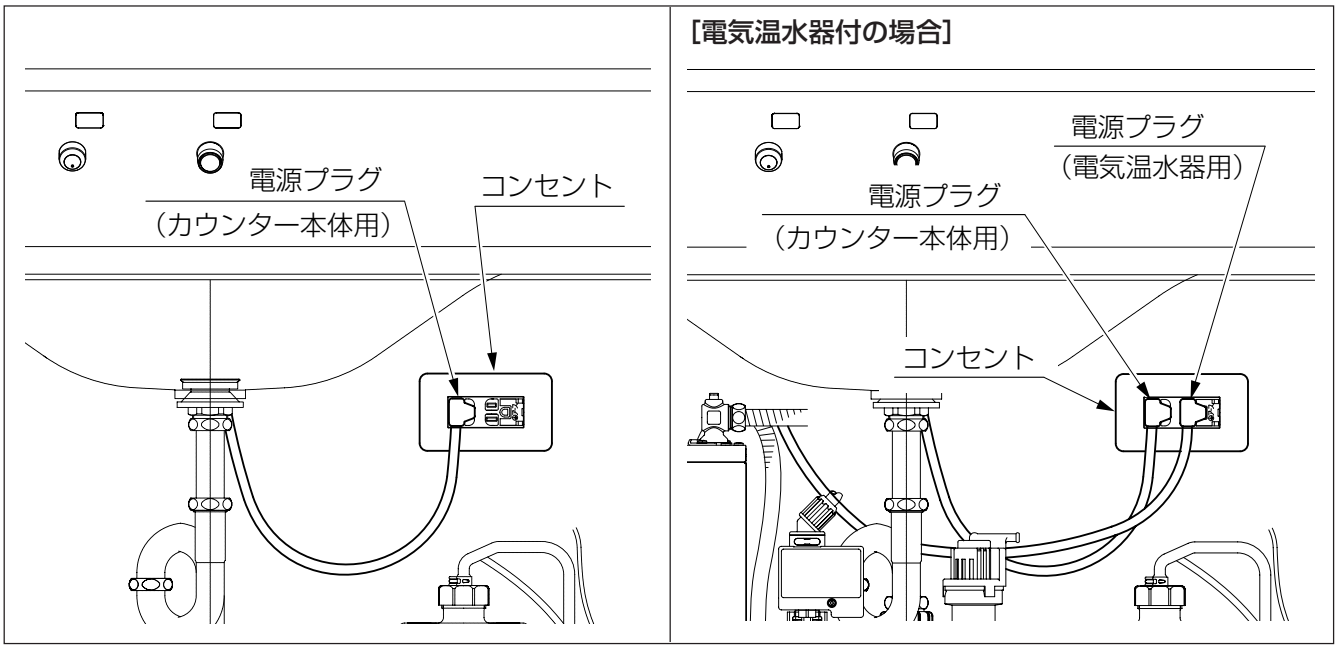


●ご使用前に

■運転前の準備と確認

①電源の確認

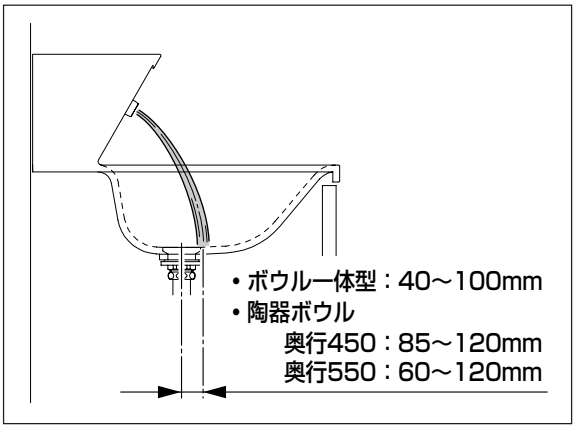
・電源プラグをコンセントに差し込みます。
・電源は AC100V です。（周波数 50 ／ 60Hz 共用）



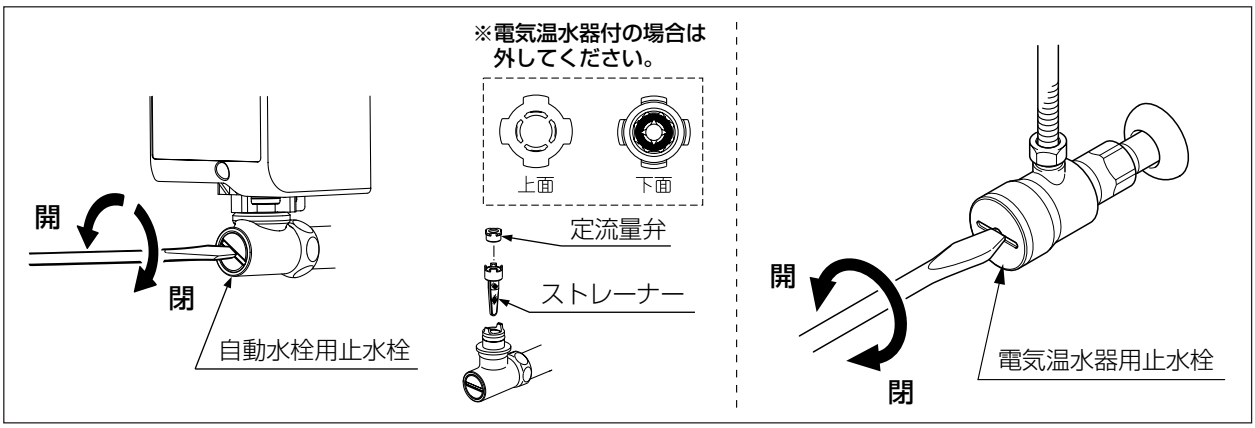
②流量の調整　吐水量の調節

吐水の着水位置が、右図の位置になるよう止水栓で調節してください。
※洗面ボウルが連立する場合は、各々の吐水落下位置がそろうように調節してください。

※電気温水器なしの場合：
自動水栓用止水栓で調節してください。
低圧の現場で、流量が不足する場合は定流量弁を外して流量の調節を行ってください。
●ストレーナーは必ず装着してください。



※電気温水器付の場合：自動水栓用止水栓は全開とし（定流量弁が装着されている場合は取り外してください）、電気温水器用止水栓で調節してください。



③水石けんの補給

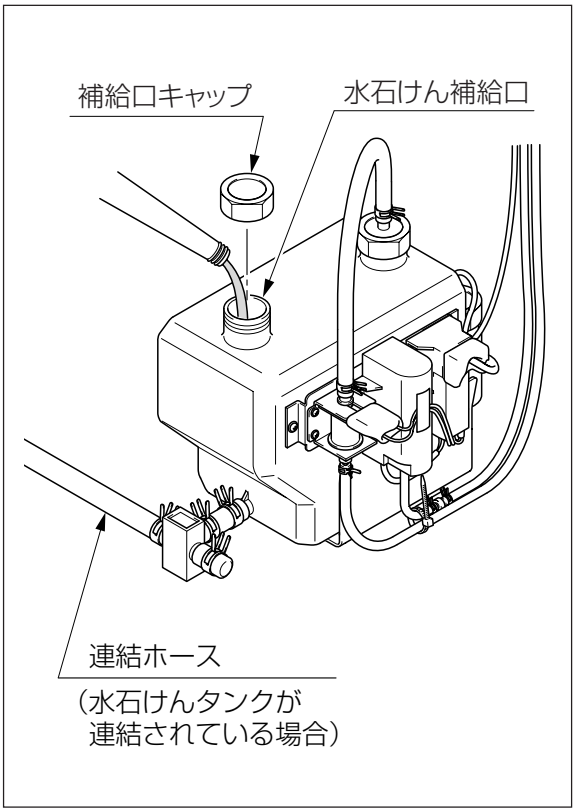
・カウンター下の扉を開けます。

・水石けんタンクの補給口キャップを外し、水石けんをゆっくり補給します。
（水石けんタンクの容量は約 4L です）

[指定水石けん]

メーカー名	商　品　名	推奨希釈倍率
アルボース	アルボース	7～10倍
	アルボース　G-N	7～10倍
サラヤ	シャボネット　ユ・ム	7～10倍
	シャボネット　ゴールド	7倍
ジョンソン	ハンドソープ　プラス	7倍
	ハンドソープ　プラスC	7倍

※ボウル数が２器具、３器具タイプの場合、水石けんタンクは連結ホースで接続されています。
１箇所のタンクに水石けんを補給していただきますと、自動的に他のタンクにも連結ホースを通して水石けんが補給されます。



・補給が終わりましたら水石けんタンクの補給口キャップをしっかりと閉めてください。

④電気温水器

電気温水器ご使用前の確認につきましては、**電気温水器取扱説明書の「使用時のご注意（初めてご使用になる場合）」**をご参照ください。

注意

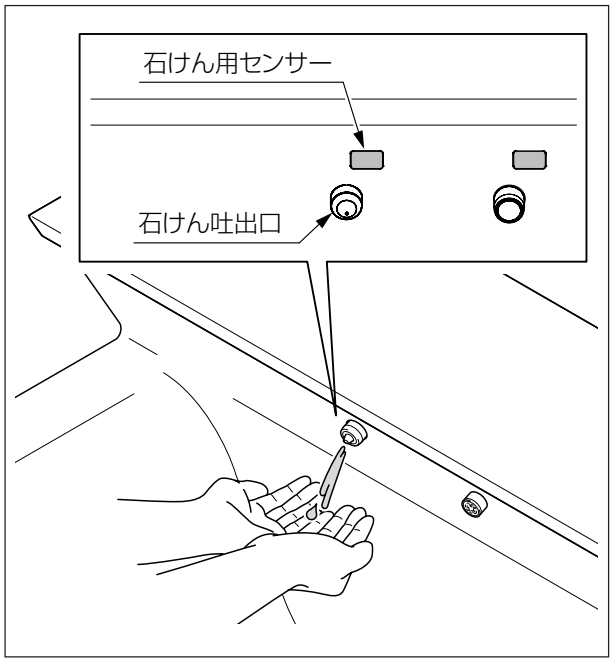
・水石けんの残量が少なくなると、水石けんは出ませんので水石けんを補給してください。
・補給に使用する容器はきれいなものを使用してください。ペットボトルや市販の補給タンクを使用すると便利です。シンナー等の有機溶剤、洗剤の空き容器などを使用すると故障・異常の原因となりますので使用しないでください。
・クレゾール等の消毒剤の使用はさけてください。故障やムース吐出状態悪化の原因になります。
・水石けんは必ず指定水石けんおよび推奨希釈倍率でご使用ください。推奨希釈倍率以外で使用されると、故障やムース吐出状態悪化の原因になります。
・あらかじめ希釈した水石けんを補給してください。水石けんの原液を先に入れ、後から水を補給するとムース吐出状態悪化の原因になります。
・水石けんを補給する際は、ゆっくり補給してください。急に補給すると、あふれる場合があります。

●ご使用方法

このボウルは、差し出された使用者の手をセンサーが感知し、【ムース吐出】・【吐水】を自動的におこないます。

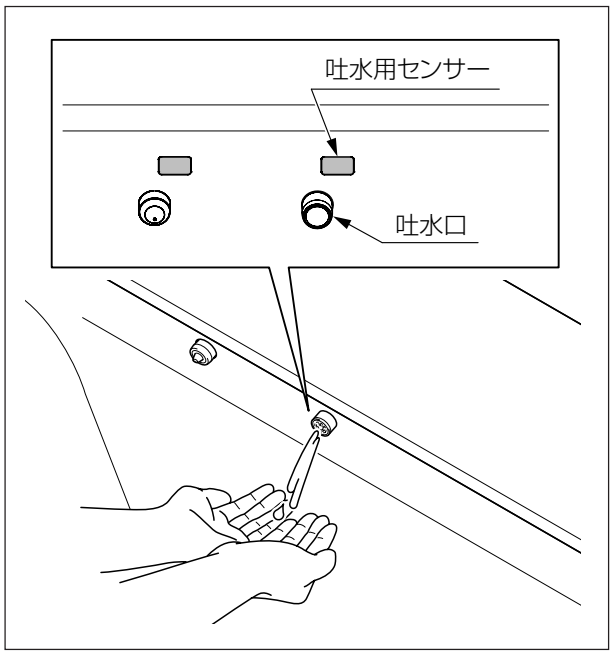
■ムース状水石けんの吐出と停止

●石けん吐出口の下に手を差し出すと、センサーが感知し一定量吐出します。
再び吐出させる場合は、一度手を引いてから再び手を差し出してください。



■吐水

●吐水口の下に手を差し出すと、センサーが感知し吐水します。
手を引くと約１秒後に停止します。
※いたずら防止のため、約60秒間連続吐水すると、自動的に停止します。一旦手を抜いてから、再度手をかざすと吐水します。



■電気温水器

●電気温水器のご使用方法につきましては、**電気温水器の取扱説明書「ご使用方法」**をご参照ください。

●お手入れ方法

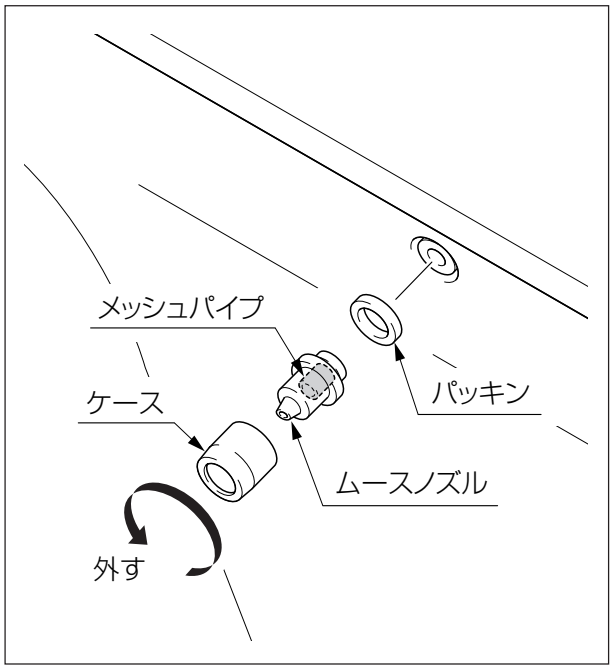
■お手入れ（カウンター、扉、幅木）

●汚れは、硬くしぼったぬれぶきんでふいてください。
汚れがひどいときは薄めた中性洗剤を湿らせた布でふいてください。つぎに硬くしぼったぬれぶきんでふいてください。

●商品の表面を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。
- クレンザー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
- 酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤
- ナイロンたわし、ブラシ等
- シンナー、ベンジン等の溶剤

■水石けんムースノズルのそうじ

●ムースノズルやメッシュパイプの表面によごれ、ゴミ等が付着しますと水石けんが吐出できなくなることがあります。
①手でケースを反時計回りに回して、ムースノズルを本体より外します。
②中にあるメッシュパイプとムースノズルを水洗いします。



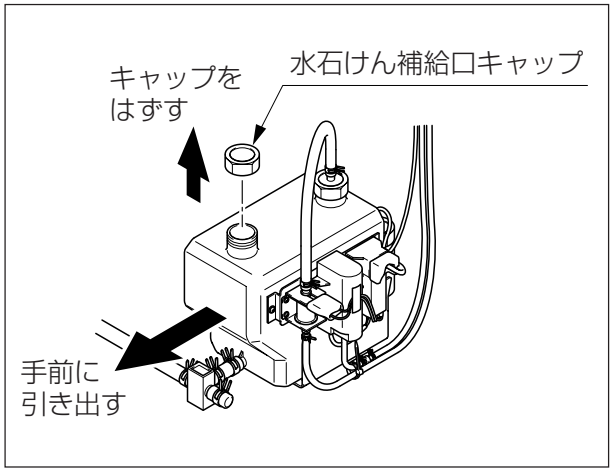
注意

※必ずコンセントを抜くか、センサー窓を覆ってから作業してください。（作業中に自動検知する恐れがあります）
※手を切らないように手袋・長そで服を着用してください。
※メッシュ部分は強くこすらないでください。破れの原因となり、ムース感がわるくなります。
※そうじ後は、ケースをしっかり締め込んでください。
しっかり締め込まないと、水石けん漏れの原因となりますのでご注意ください。

■水石けんタンク洗浄の仕方（1ヵ月に 1 回程度）

●水石けんタンクを洗浄する場合は、タンクを手前に引き出し、水石けん補給口キャップを取り外して行ってください。

※水石けん補給口キャップ以外は外さないでください。



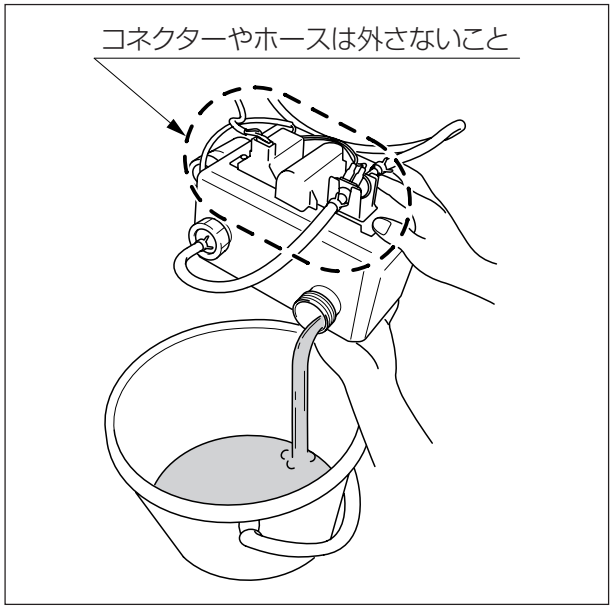
注意

※水石けん補給口キャップを外す際は、水石けんが床に漏れる恐れがありますのでご注意ください。

●バケツを用意し、タンク内に水を入れゆすいだのち、バケツに水を捨て洗浄します。

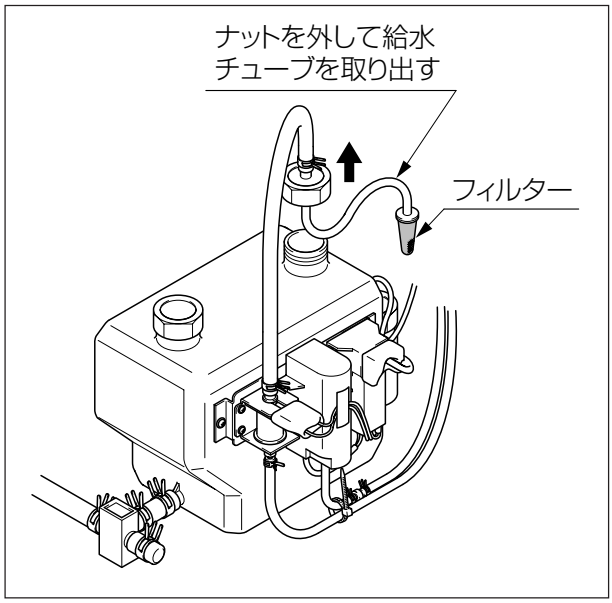
※水を捨てるとき、ケーブル・ホースを強く引っぱらないでください。
故障や水石けん漏れの原因になります。

※使用頻度が高い場合は、清掃間隔を短かくしてください。



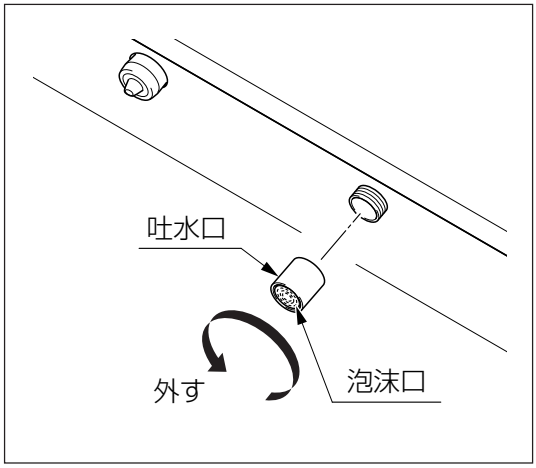
■水石けん補給チューブフィルターのそうじ（1ヵ月に 1 回程度）

●水石けんタンクから給水ナットを外し、給水チューブ先に付いているフィルターをそうじしてください。



■吐水口のお手入れ

●吐水口の表面によごれ、水あかが付着しますと吐水に乱れが生じます。
電源コードを抜くか、または自動水栓用止水栓を閉じ、手で吐水口を反時計回りに回して取り外し、泡沫口をそうじしてください。



注意

※電気温水器付の場合も必ず自動水栓用止水栓側を操作してください。

※必ず止水した状態で作業してください。吐水口内部への漏水の原因となります。

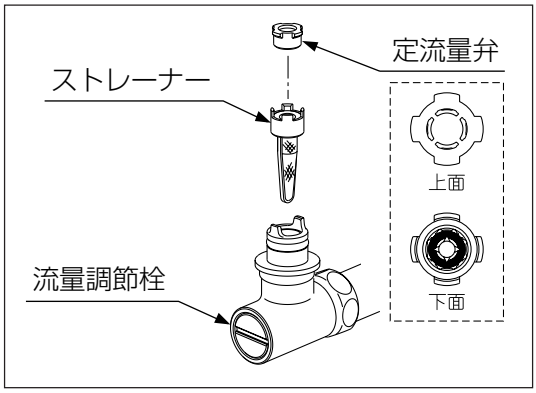
※泡沫口のよごれは、水に濡らした柔らかい布等でふき取ってください。よごれがひどい時は、適当に薄めた中性洗剤を含ませた布でふき取ってください。

※そうじ後は、吐水口をしっかり締め込んで取り付けてください。しっかり締め込まないと、水漏れの原因となりますのでご注意ください。

●お手入れ後は止水栓（流量）の調節を行ってください。（P.6 をご参照ください）

■ストレーナーのお手入れ

●ご使用になられているうちに吐水量が少なくなったときには、ストレーナーをそうじしてください。
自動水栓用止水栓のストレーナーをそうじする場合は、自動水栓用止水栓を閉じて行ってください。
電気温水器用止水栓のストレーナーをそうじする場合は、電気温水器の取扱説明書をご参照ください。



注意

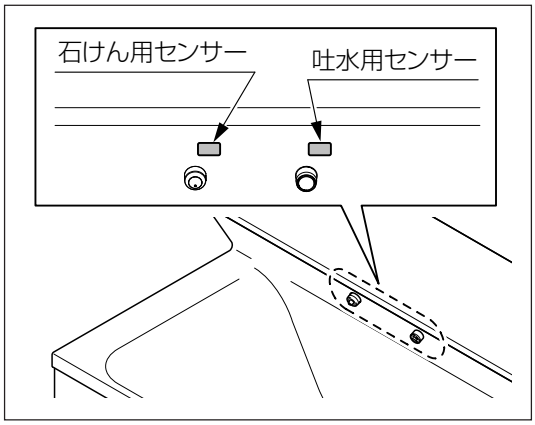
※必ず止水した状態で作業してください。

●お手入れ後は止水栓（流量）の調節を行ってください。（P.6 をご参照ください）

■吐水用センサー、石けん用センサー清掃（１ヵ月に１回程度）

●センサー部の汚れは、感知不良や誤動作を引き起こす原因となります。定期的に乾いた柔らかい布などでそうじをしてください。

●汚れがひどいときは、適量に薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取ってください。



注意

※センサー表面は、傷つけないようご注意ください。故障や誤作動の原因になります。

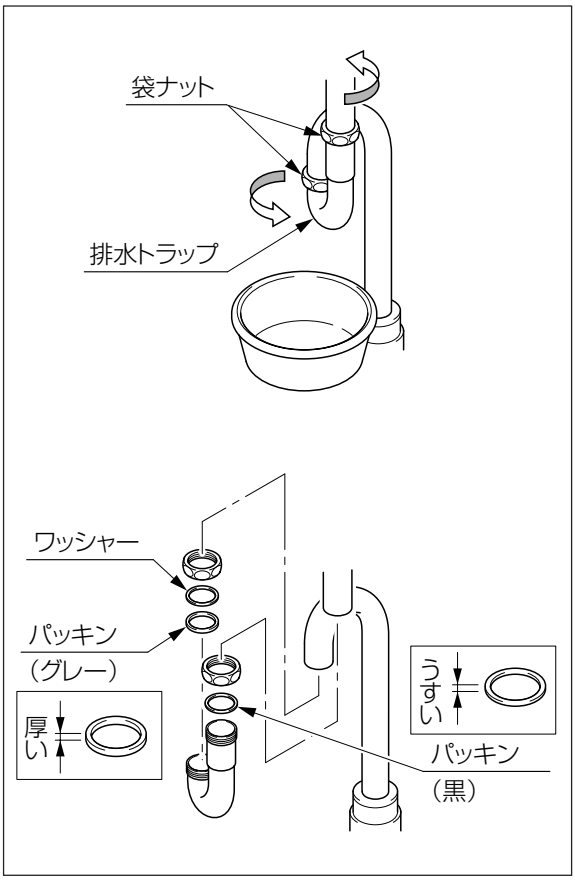
■排水トラップのお手入れ（１ヵ月に１回程度）

●排水口カバー、排水トラップのお手入れをしてもまだ排水が遅いと感じたら以下の手順で排水トラップをおそうじしてください。

（1）排水トラップの真下に配管内の封水を受ける容器を置き、排水トラップを取り外し、ゴミを取り除きます。
※排水トラップの袋ナットは、ウォーターポンププライヤー等の工具を使用してゆるめてください。

（2）排水トラップを元通りに取り付けます。
※必ずパッキンを元通り取り付けてください。
※排水トラップの袋ナットは工具でしっかりと締め付けてください。
※袋ナットとパッキンのはめ合いは、きつめになっていますので、袋ナットをねじりながらはめ込んでください。

（3）一度水栓から水を流し、排水管から水が漏れていないことを確認します。



ワンポイント
（3）の確認を怠ると、排水口から下水の臭いが漏れてくることがありますので、必ず一度、水を流してください。

⚠注意

●ナット類は工具でしっかりと締め付けてください。
※締付けが不十分ですと漏水の原因になります。
●上記以外のナット類に触れたり、外したりしないでください。
●パッキン、ワッシャーに変形や劣化が見られる場合は、必ず交換してください。
※漏水の恐れがあります。

■電気温水器

●電気温水器のお手入れにつきましては、**電気温水器の取扱説明書「日常の点検」**をご参照ください。

●点検・修理依頼

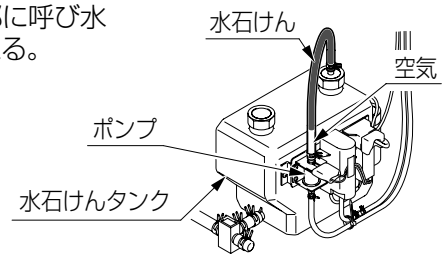
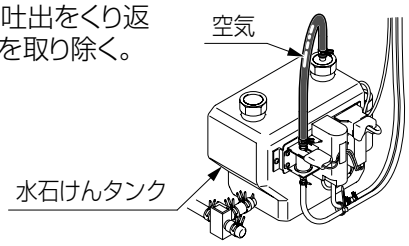
⚠警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理・改造は行わないでください。
※発火、感電したり、異常作動してケガをすることがあります。

■故障時の点検は以下の要領で行ってください。

●修理を依頼される前に、下記項目をご確認ください。**電気温水器付の場合は、電気温水器の取扱説明書「故障かなと思ったら」**もご確認ください。

	現　　象	点　　検	処　　置
吐水口部	吐水しない	止水栓は開いていますか?	止水栓を開く。(P.6)
		電磁弁コードが電磁弁に差し込まれていますか？	電磁弁コードを電磁弁に差し込む。
		断水中ではありませんか?	回復するまでお待ちください。
		停電中ではありませんか?	回復するまでお待ちください。
		ストレーナーや泡沫口表面にゴミ等が付着していませんか?	ゴミ等を除去する。(P.11)
		センサー表面が汚れていませんか?	柔らかい布でそうじする。(P.11)
		電源プラグがコンセントから外れていませんか?	電源プラグをコンセントに差し込む。
		電源プラグを抜き、1分後に再度差し込んでください。	
		上記の箇所を確認しても吐水しない場合は、止水栓を閉じて、お求めの販売店またはLIXIL修理受付センターまでお問い合わせください。	
	吐水口根元から水が漏れる	吐水口ケースはしっかり締め込まれていますか?	吐水口ケースをしっかり締め込んでください。(P.11)
	流量が少ない	止水栓を全開にしていますか?	止水栓を全開にする。(P.6)
		ストレーナーや泡沫口表面にゴミ等が付着していませんか?	ゴミ等を除去する。(P.11)
		水圧が低くありませんか?	止水栓にて流量の調節を行ってください。(P.6)
	流量が多い	水圧が高くありませんか?	止水栓にて流量の調節を行ってください。(P.6)
	止水しない	センサーの前に障害物はありませんか?	障害物を取り除く。
		センサー表面が汚れていませんか？	柔らかい布でそうじする。(P.11)
		上記の箇所を確認しても止水しない場合は、止水栓を閉じて、お求めの販売店またはLIXIL修理受付センターまでお問い合わせください。	

	現　　象	点　　検	処　　置
水石けん吐出口部	吐出しない	停電中ではありませんか?	回復するまでお待ちください。
		電源元のブレーカー、ヒューズは切れていませんか?	ブレーカー、ヒューズを修復する。
		電源プラグがコンセントから外れていませんか?	電源プラグをコンセントに差し込む。
		タンクコードが外れていませんか?	タンクコードを接続する。
		センサー表面が汚れていませんか?	柔らかい布でそうじする。(P.11)
		水石けんは補給されていますか?	水石けんを補給する。(P.7)
		水石けんチューブは外れていませんか? 折れ曲がりはありませんか?	水石けんチューブを折れ曲がりがないように接続する。
		水石けんタンクの保護キャップはついていませんか?	保護キャップを外す。
		吐出口はつまっていませんか?	水洗いして取り除く。(P.9)
		水石けんホースに空気がたまっていませんか?	空気部に呼び水を入れる。 
		電源プラグを抜き、1分後に再度差し込んでください。	
		上記の箇所を確認しても吐出しない場合は、お求めの販売店またはLIXIL修理受付センターまでお問い合わせください。	
	ムース状水石けんの切れが悪い	吐出口はつまっていませんか?	水洗いして取り除く。(P.9)
		水石けんホース内に空気が混入していませんか?	水石けん吐出をくり返して空気を取り除く。 
	止まらない	センサーの前に障害物はありませんか?	障害物を取り除く。
		センサー表面が汚れていませんか?	柔らかい布でそうじする。(P.11)
		上記の箇所を確認しても止まらない場合は、お求めの販売店またはLIXIL修理受付センターまでお問い合わせください。	

上記の処置をしても直らないときは、電源プラグをぬいて、お求めの販売店またはLIXIL修理受付センターにご相談ください。

●仕様

■仕様表

タイプ		単水栓		電気温水器付	
カウンター	奥行寸法	450mm	550mm	450mm	550mm
	幅寸法	750mm～			
	トップカウンター形状	ストレートタイプ			
		ラウンドタイプ			
定格電源		AC100V　50／60Hz			
定格消費電力		8W		708W（電気温水器700W）	
電源仕様		電源プラグ付コード（長さ1m）		本体：電源プラグ付コード（長さ1m） 電温：電源プラグ付コード（長さ0.7m）	
使用圧力範囲		0.1（流動時）～0.4MPa（静水圧）			
感知方法		測距式赤外線センサー			
カウンター色		403K（スノーホワイト）			
吐水機能	吐水方式	泡沫式			
	吐水量	約3～4L／分			
	出湯温度	ー		約36℃（温度範囲 33～43℃）	
石けん機能	吐出方式	ムース式			
	吐出量	約2mL/回			
	タンク容量	約4L（2,000回分）			
	水石けん補給口	カウンター下タンク			
電気温水器	わきあがり時間	ー		約18分 ※水温15℃時	
	タンク容量	ー		約3L	
使用温度範囲		5～40℃			

●出湯初期に瞬間的に温度が変化する場合があります。（43℃程度）

部位	仕様
カウンター	ボウル一体成型人造大理石（メタクリル系）
前板	メラミン化粧板、塩ビシート張りなど
フレーム	亜鉛メッキ鋼鈑
幅木	ステンレスヘアライン仕上げ（SUS304）